

広報よこすか

YOKO SUKA

2023年2月号特別版

実を結ぶ。

EXTRA ISSUE

広報よこすか2月号通常版は特別版を取り外すとお読みいただけます。

これまでに生まれた新しい流れ

(2020年から2022年まで)



【子育て・教育関連】

01

●安心して産み育てられる環境づくり

中央こども園、病児・病後児保育センター、愛らんどを併設した「すくすくかん」を開園しました。市立保育園・こども園には**午睡見守りシステム**を導入し、園児の睡眠時の事故を防いでいます。

また、**LINE**による**妊娠・不妊などの相談**や、育児の不安を持つ方への**訪問型産後ケア**など出産前後のケアを充実させました。

小学校入学後の放課後の居場所づくりとして、市内5校に**放課後こども教室**を開設し、生まれる前から途切れることなくサポートをします。



●子育て世帯の経済的負担軽減

2人目以降の子どもの保育料を軽減し、また、**放課後児童クラブの利用料**を引き下げるための支援を行っています。

●教育環境の充実

学校給食センターが完成し市立中学校で学校給食が始まり、バランスの取れた昼食を提供できるようになりました。

また、小・中・特別支援学校の児童生徒に**1人1台のタブレット端末**を配付したり、市立小・**中学校の図書館に学校司書**を配置したり、小学校1年生～3年生に加え、**4年生のクラスを35人以下**にして、きめ細やかな学習を行うなど、学力向上に向けて取り組んでいます。

【地域経済・まちづくり関連】

02

●地域資源を活用した賑わいづくり

観光周遊の取り組み「よこすかルートミュージアム」の拠点となる「**ティボディエ邸**」をオープンし、**浦賀レンガドックの活用**や**千代ヶ崎砲台跡**の公開を始めました。

また、大河ドラマにゆかりのある文化財を展示した「**運慶 鎌倉幕府と三浦一族**」や、横須賀の伝統工芸を伝える**スカジャン展**を横須賀美術館で開催し、アートを通じて夜の猿島を体感する「**Sense Island - 感覚の島 - 暗闇の美術島**」を開催するなど、地域資源の活用に取り組みました。

●地域経済の新たな息吹

横須賀市と北九州市を結ぶ**フェリー航路**を開設し、新たな観光や物流の機会を生み出しました。

また、ヤマシンフィルタ(株)、(株)ブイ・テクノロジー、(株)TBM、(有)マーロウなどの企業進出や中央地区の**ホテルニューポートヨコスカ**、**ヴェルニー公園のレストランアマルフィ**、横須賀の食が体験できる**いちごよこすかポートマーケット**、プロスポーツを間近で感じられる「**F・マリノススポーツパーク**」などが次々とオープンしました。

よこすか「地元の元気」応援券や、横須賀の新たな**おみやげ開発**、**副業人材と市内中小企業とのマッチング支援**など、地域の活性化につながる取り組みも始めました。

●音楽・スポーツ・エンターテインメント

うみかぜ公園での**BMXジャパンカップ**や、三笠公園での**バスケットボール3×3開幕戦**、**ストリートダンス**などアーバンスポーツの全国規模の大会が開催され、市内外から多くの注目のもと、大きな興奮を呼び起こしました。

また、人気ゲームの「**モンスターハンターライズ：サンブレイク**」との**コラボイベント**や、県内の中学・高校生を対象にしたeスポーツ大会 **YOKOSUKA e-Sports CUP**、著名アーティストらによる**ヨコスカ街なかミュージックライブ**の実施の他、全国の音楽ファンに向けて、横須賀ならではの場所で演奏動画を配信しました。



市民の皆さんにとって「住みやすい」「住んでいてよかった」と思えるまちを目指し、そして、市外の方からは「行ってみたい」「住んでみたい」と思ってもらえるまちを目指し、コロナ禍においても、さまざまなことに取り組んできました。今、その成果が少しずつ表れ、まちのさまざまな場所で実を結び始めています。広報よこすか特別版では、2020-2022 に生まれた新しい流れを紹介します。

●市民の憩い・集いの場づくり

「みどりの愛護」のつどい記念特別照射

新しい平和モニュメントとともに「**平和中央公園**」をリニューアルしました。多くの方の安らぎの場となっており、広場では、**第32回全国「みどりの愛護」のつどい植樹式**が開催されました。



JR 横須賀駅から観音崎までの海沿いを通る1万メートルプロムナードに、色鮮やかな**ウォールアート「ヨコスカジエニックストリート」**が続々と誕生し、通りに彩りが加わりました。また、「**走水水源地**」は、公園として年間を通じて利用できるようにし、春には桜、夏には潮風を感じる憩いの場が増えました。

●コロナ禍における積極的な賑わいづくり

よこすかカレーフェスティバル、ANAウインドサーフィンワールドカップ、よこすか開国花火大会、よこすかYYのりものフェスタを3年ぶりに開催。また、海上自衛隊創設**70周年**を記念した**国際観艦式**を開催するなど賑わいと楽しさを取り戻しました。

【福祉・コミュニティ関連】

●相談しやすい体制(環境)づくり

暮らしの困りごとをまとめて相談できる「**地域生活相談窓口(行政センター内)**」、福祉の総合相談窓口の「**ほっとかん(市役所内)**」や、死亡届を提出した後の手続きをお手伝いする「**おくやみ窓口**」などができました。



また、窓口に来ることが難しい方、ちょっとした困りごとを相談したい方は「**LINEによる相談**」もできます。

●安全・安心なまちづくり

海沿いを中心に**災害監視カメラ**を設置しました(市内27カ所)。荒天時も、危険な場所の情報を市公式YouTubeからリアルタイムで確認できます。

認知症による行方不明者を早期に発見するため、SNSによる行方不明者情報の発信を始めました。

●ダイバーシティの推進

三浦半島4市1町間では、引っ越ししても、引き続き**パートナーシップ宣言制度**を利用できるようにしました。

また、「いじめ反対」を意思表示する**ピンクシャツデー運動**の開始や、誰もが一緒に楽しめる「**インクルーシブ公園**」を久里浜に整備しました。

【環境関連】

04

「**地球を守れ 横須賀ゼロカーボン推進条例**」を制定し、公共施設への太陽光パネルなどの設置を積極的に進めています。その他にも、市役所本庁舎などへの「**エコミル**」で発電した環境に優しい電力の供給や、**公用車への電気自動車(EV)の導入**を順次進めるなど、ゼロカーボンシティの実現に向けて取り組んでいます。

また、「**海洋プラスチックごみ対策アクション宣言**」を表明し、趣旨に賛同いただける事業者などを募りました。多くの賛同をいただき、共に連携してクリーン活動などに取り組んでいます。

【DXの推進】

05

インターネットを利用し、引っ越し、子ども関係の手続きに必要な書類の確認や書類の作成ができる「**書かない窓口**」を始め窓口での待ち時間が短くなりました。

全国の**コンビニで住民票**の写しなどを発行できるようになり、市役所に足を運ばなくてもできることが増えました。

また、スマートフォンから**病児・病後児保育の予約**ができる「**あずかるこちゃん**」や**市税の口座振替の申込手続き**ができる「**AIRPOST**」などを利用できるようにしました。



【これから芽が出る取り組み】

- ソレイユの丘を多彩なコンテンツが楽しめるエンターテインメント施設にリニューアルオープン
- 三笠公園をリニューアル
- 大矢部弾庫跡地を整備
- 新病院を久里浜の神明町にオープン
- 幼稚園と、保育園の機能を併せ持つ南こども園、北こども園を追浜・久里浜に整備
- 追浜駅交通ターミナルを整備
- 追浜駅前や、横須賀中央駅前の再開発
- 旧市営田浦月見台住宅を活用
- EVカーシェアリングの実施



ゆっくりと、笑顔の果実が実り始めました。
これから、より多くの笑顔が実りますように。

